

子どもの本と文化を、
子どもの未来のために一

大阪国際児童文学振興財団

INTERNATIONAL INSTITUTE for CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA



REPORT

No.04
2014.9

編集・発行／一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
〒577-0011
大阪府市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>

「四年目、転機 年になりました」

理事長 三宅興子

平成三年度の当財団は、再スタートから四年目となり、名称を「大阪国際児童文学振興財団」と変更し、新たな出発をいたしました。新公益法人制度に基づいた新しい定款に沿って組織機構と役員構成などを大幅に変更し、財団としての法的基礎を固めることが出来ました。

また、「大阪府立中央図書館 国際児童文学館」への移行期間（三年）満了に伴い、新たな関係が始まった年でもあります。専門員雇用の最長三年間延長と寄贈図書受付業務の受託事業が決まり、今後連携・協力を進める第一歩を踏み出しました。

事業につきましては、「国際グリム賞」は第一四回、「日産 童話と絵本のグランプリ」は、記念すべき第三十回となりました。長年継続して実施できていることを改めて関係各位に感謝をいたしました。

特筆されるのは、収支決算で約三七〇万円の赤字に収まったことです。まだまだ赤字基調であり、臨時的要因による改善が大きいのですが、内容を見ると偶然ではなく、財団の蓄積してきた成果が活かされ、集中したものだといえます。「子どもゆめ基金」の助成による「ドキドキ絵本づくり for KOS」は、インターネットで絵本を作る「教材開発」事業ですが、十年来、絵本作家を招聘して講演とワークショップを行ってきた経験がいかされており、「子どもの本

100問100答」（新財団発足記念出版）は、レファレンスサービスで蓄積してきた問いをもとに、執筆者はすべて、旧児童文学館で働いた者です。

先日出席した会議で、「学校図書館改正法」が話題になり、「学校図書」の専門性を心配する声がかまれました。専門性の問題は、当財団でも大きい課題です。

多くの子どもの本に関心のある方々とともに、未来を見据えて、自らの専門性を高め、今後も幅広い事業を展開できればと考えています。



新財団発足記念出版 (平成25年8月)

『子どもの本100問100答』

当財団／編 創元社／発行
A5判 224 ページ 1,800円(税別)

子どもの本に関する質問や疑問を100問にまとめて答えた「子どもの本ハンドブック」。子どもに本を読んでもほしいと願っている人や図書館、家庭文庫や読書推進に関わる諸団体のための手軽で便利な相談ツールとして編集しました。



第14回国際グリム賞 英国のキンバリー・レイノルズ氏が受賞

国際グリム賞は一般財団法人金蘭会および大阪府立大手前高等学校同窓会金蘭会との共催で、国際的分野で児童文学界に貢献した研究者に対し、隔年で贈られる賞です。

第14回の25年度は、英国ニューカッスル大学のキンバリー・レイノルズ教授が受賞され、授賞式と受賞記念講演会を行いました。

日時：平成25年10月27日(日)
場所：大阪国際交流センター
受賞者：キンバリー・レイノルズ博士(英国)

演題：知られざる英国児童文学史1910年～1949年の見どころ
てきた作品を中心に

通訳：松下宏子さん
参加者：113人
(関西大学ほか非常勤講師)

〈授賞理由〉

キンバリー・レイノルズ博士は、児童文学・児童文化の優れた研究者であり、現在、英国ニューカッスル大学の英語・英文学部の教授を務められています。児童文学史、少女小説、子ども観出版史など、幅広い研究対象をもち、成果を単著・共著の形で次々と発表されています。

1990年にローハンブトン大学に国立児童文学研究所を創設、初代所長として、英国内の児童文学研究の活性化に貢献すると同時に、多くの海外児童文

学研究者の育成、支援、ネットワーキングをされました。また、児童文学研究所を拠点に、IBBY(国際児童図書評議会)イギリス支部のIBBY再加盟に貢献されました。加えて、国際児童文学学会(IRSCL)では会長(2003-107)として、学会の発展に尽力されました。

2004年にはニューカッスル大学に移り、「セブンストールズ」(英国・子どもの本センター)の理事に就任されました。

〈講演の概要〉

英国児童文学史において1910年～1949年是不毛な時代と言われてきましたが、これは作られた歴史であって、実際には前衛的であったり、実験的であったりして、現在につながる百科事典や児童文学作品が出版されていました。

しかしながら、それらの出版には左翼系の活動家が関わっていたため、現在では取り上げられることはありません。そこで、講演では、これらの具体的な作品を取り上げながら、英国児童文学史の空白部分を明らかにされました。



イギリスの絵本作家

ローレン・チャイルドさん来日

現代イギリスの代表的な絵本作家ローレン・チャイルドさんをお招きして、講演会と子ども向けワークショップを開催しました。

〈国際講演会〉

「絵本作家ローレン・チャイルド 自作を語る―あたしのなやみは無限大」

絵と文のデザインに優れ、新しい絵本のスタイルを切り拓いたローレン・チャイルドさんが絵本作家になるまでの軌跡と、「フラリス・ブーン」シリーズ、「チャーリーとローラ」のシリーズなどの作品制作過程を、画像を使いながら講演されました。

日時：平成26年3月15日（土）
場所：大阪府立中央図書館
大会議室

イギリスの絵本作家ローレン・チャイルドさんと絵本をつくりました！

チャイルドさんが子どもたちに絵本の創作方法を紹介した後、子どもたちが「もし、「わたし／ぼく」が昔話の世界へ行ったら・・・」というテーマをコラージュ技法で表現しました。



日時：平成26年3月16日（日）
場所：万博記念公園内 自然観察学習館
通訳：多田昌美さん（美作大学准教授）
参加者：小学生37人 大人38人
後援：大阪府立中央図書館、
大阪府子ども文庫連絡会
*独立行政法人 日本万国博覧会記念機構助成事業

通訳：多田昌美さん

（美作大学准教授）

参加者：95人

後援：大阪府立中央図書館

大阪府子ども文庫連絡会

*ローレン・チャイルド招聘事業は、左記の各社からご支援をいただきました。

近畿日本鉄道株式会社

サントリホールディングス株式会社

パナソニック株式会社

株式会社富士通システムズアプリ

ケーション&サポート

ムサシ・アイ・テクノ株式会社

○講演会、ワークショップの報告集を販売しています（1000円・税別）。



展覧「夏休み大特集」 子どもの本に見る 科学の不思議!

大阪府立中央図書館国際児童文学館所蔵の資料から「科学」をテーマにした明治期からの子どもの本、雑誌を展示し、関連イベントを開催しました。



日時：平成25年7月20日（土）
～8月4日（日）

場所：万博記念公園内
EXPO'10パビリオン

後援：大阪府立中央図書館、
一般社団法人 関西環境

開発センター

*独立行政法人 日本万国博覧会記念機構助成事業

〈関連イベント〉

「おはなし会」

びっくりはっけんかがくのふしぎ

日時：平成25年7月20日（土）

おはなし会3回

出演：おはなしポップ

参加者：42人

夏休み科学教室

「吹き矢をとぼそう！」

ぐんぐんのびる力の科学

日時：平成25年7月28日（日）
出演：渡辺慶一さん
参加者：38人
（仮説実験授業研究会）

「宇宙」短歌を

みんなで作ろう!

日時：平成25年8月3日（土）

出演：高田ほのかさん

（ビビングルチャー倶楽部講師）

参加者：8人

のりものだいすき おはなしだいすき

貸切モノ

レールの中で

おはなしを楽し

しみ、彩都西

の会場で人形

劇を観る「お

はなしモノ

レール」を実

施しました。

平成25年度で

7回目となり

ます。



日時：平成25年11月2日（土）
定員：240人
出演：職員、おはなしポップ、
人形劇サークルぱれっと
等

協賛：大阪高速鉄道株式会社

独立行政法人日本万国

博覧会記念機構

阪急不動産株式会社

株式会社ベネッセコーポ

レーション

*子どもゆめ基金助成事業

目録 童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第30回日産童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞作品38編を決定しました。

○応募数 童話の部2321点、
絵本の部481点 計2802点

○童話の部 大賞

「カエルと王かん」

なかじまゆうきさん

絵本の部 大賞

「木（きい）ちゃん」

ながやまただしさん

○表彰式 平成26年3月9日（日）

日産自動車株式会社

グローバル本社

協賛：日産自動車株式会社

また、第29回童話の部優秀賞一席および絵本の部大賞作品をB1出版から平成25年12月に出版しました。

童話の部

『わけありリンゴのアップルパイ』



あさいゆうこ／作
あべまれこ／絵

絵本の部

『ゆみちゃんねぞうのわるいこです』



みやざきあけ美
／作・絵

子どもに本を 手渡す人のために

講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもの本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、主任専門員、特別専門員を派遣しました。

- ・実施回数：45回

審査員・委員など

左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

- ・第9回大阪こども「本の帯創作」コンクール
- ・第23回賞面手づくり紙芝居コンクール審査員（貧困市教育委員会・人と本を紡ぐ会）
- ・平成25年度「心の輪を広げる体験作文」審査委員会（大阪府福祉部）
- ・第32回人権啓発詩・読書感想文審査委員会（大阪府民文化部）
- ・J・BOYオナーリスト選考会 他

子どもたちに おはなしの楽しさを

昔の絵本・紙芝居に触れるイベント

「むかし」の紙芝居・子どもの絵本を楽しむ」
大正期の絵本や1950年代に楽しまれた街頭紙芝



居を観た後、絵本を読んだり、紙芝居を演じたりする活動を行いました。

日時：平成25年8月11日（日）
場所：大阪府立中央図書館
大会議室

出演：三邑会、当財団職員
*後援：大阪府立中央図書館、三邑会

*子どもゆめ基金助成活動

●大阪府立中央図書館との連携
大阪府立中央図書館こども資料室でおはなし会6回、人形劇1回を開催しました。



出演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと

●森の絵本づくり

「森ともたちになろう！」
～森の絵本づくり～
日時：平成25年10月5日（土）
～6日（日）

場所：大阪府立少年自然の家
小学校や図書館でのおはなし会やワークショップ

●吹田市立山田駅前図書館でのおはなし会（2回）
出演：職員、おはなしポップ

●豊中市立東丘小学校等での小学生を対象とした、物語体験ワークショップ（2回）

●児童養護施設でのおはなし会
大阪府域の児童養護施設2カ所

でおはなし会を開催しました。

出演：おはなしポップ

●日中韓子ども童話交流2013に参加し、日本、中国、韓国の子どもたちと一緒に絵本作りをしました。

日時：平成25年8月17日～23日
場所：東京・愛知

参加者：100名
主催：日中韓子ども童話交流実行委員会

●「おはなしポップ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画

子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。

また、「おはなしポップ」は、絵本やおはなしに関する研修を3回、「人形劇サークルぱれっと」は講師を招いた研修を2回行いました。

●体験ワークショップ「いろいろな絵本づくりにちようせん!!」の実施
小学生を対象に6回連続絵本づくりワークショップを実施しました。



日時：平成25年6月～11月（全6回）
場所：大阪府立中央図書館
大会議室

参加者：子ども18名
*子どもゆめ基金助成事業

ドキドキ絵本づくり for Kids

インターネットを見ながら絵本の

作り方を体験することができるようウェブサイトに「ドキドキ絵本づくりワークショップ」を開設しました。

サイトは大きく「絵本とは？」「絵本をつくる」「プロにまなぶ」「みんなの作品」の4コーナーに分かれ、それぞれ絵本の特徴、6種類の絵本の作成方法、海外を含む7人の絵本作家の絵本づくりワークショップの紹介、子どもたちの作品の紹介をしています。

全体を通じて、絵本作家佐々木マキさんの絵本に登場するキャラクターたちが楽しくナビゲートしてくれます。

子ども一人でも、グループでも、また、指導者の方が参考としても使うことができます。



企画・立案：一般財団法人大阪国際児童文学振興財団

システム開発：株式会社ジャステイス
*子どもゆめ基金助成事業

ほんナビきつずく 子どもの本をあらすじ、 キーワードから探す

「ほんナビきつずく」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによってお気に入りの本に出会うシステムです。

キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。25年度は932冊の本を追加しました。

共同開発：株式会社富士通システムズアプリケーション & サポート

内容 もりだくさん！ メルマガ発行、 ぜひ会員登録を

毎月メルマガジンを発行しています。発行は月1回、毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

平成26年6月末現在登録数は1464人です。内容例は左記のとおり。

①お知らせ
財団からのお知らせコーナー

②コラム
Yasuko's & Okiko's Talk
理事長と専門職員が毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

③読書活動ボランティアのためのワンポイント
読書活動を行っているボランティアさんのための連続講座。絵本の選び方、読み方など、基本的なポイントを説明しています。

④サイト紹介
子どもの本をリサーチする
知らないうちに損をする子どもの本の調査のためのさまざまなサイト紹介

⑤行って来ました！
展示会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

⑥全国のイベント紹介
他団体等が実施するイベントを紹介

⑦プレゼント
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

子ども読書活動の推進のために

●大阪府子ども読書活動推進連絡協議会への参画
大阪府が推進する「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進のための協議会に参画し、会議に出席しました。(2回)

共同研究を行いました

●明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究「元博文館編集者の書簡調査から」
故・南部新二氏(元博文館編集者)旧蔵資料にある巖谷小波作品を中心に、調査研究を外部研究者とともに行いました。



●講演会・シンポジウム「巖谷小波研究の現在―没後80年、児童文学研究の可能性を考える―」
日本児童文学学会 第52回研究大会
広島経済大学 平成25年11月10日

●「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」第27号掲載 講演 シンポジウム報告1本 研究ノート3本 研究報告1本

●研究メンバー：浅岡靖史(日本児童教育専門学校教員)、伊藤元雄(ブックグループ社代表)、酒井晶

代(愛知淑徳大学教授、三宅興子(当財団理事長、遠藤純(当財団特別専門員/華頂短期大学准教授、小松聡子(当財団特別専門員)、土居安子(当財団主任専門員)

*独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 平成23~25年度

論文集 「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」第27号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。3名の応募があり、論文1本を採用しました。

- 【目次】
- 〈研究ノート〉
松美佐雄と南部新二ある口演童話家の誕生― 浅岡 靖史
南部新二と森永製菓 昭和初期における製菓会社の児童文化戦略をめぐって― 酒井 晶代
南部書簡から見た博文館―館員(元館員) からの書簡を中心に― 土居 安子
 - 〈講演〉
巖谷小波 人とメルヘン 巖谷 國士
〈シンポジウム〉
巖谷小波研究の現在―没後80年 児童文学研究の可能性を考える― 金 成妍、中川理恵子、勝尾金弥、藤本芳則、巖谷國士(報告)

研究プロジェクト活動報告Ⅱ
明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究―元博文館編集者の書簡調査から―

〈研究ノート〉
高橋五山「鬼ノツリハシ」について―ペーパーサート「日天さん月天さん」との関係を中心に― 高橋 洋子
〈国際グリム賞受賞記念講演〉
知られざる英国児童文学史―1910年から1949年の見通し― されてきた作品を中心に―
キンバリー・レイノルズ
松下 宏子 翻訳

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関する各種出版事業の相談に応じています。

- 「進研ゼミおすすめ本1000冊」ベネッセコーポレーションから受託し、小学1年生〜中学3年生を対象に、推奨本の選定、紹介文について協力しました。
- 「出版社等による企画協力業務の受託カレンダー」「F&E」の世界名作物語紀行」の監修を行いました。
- 「ミラノマンガフェスティバル(2013)」に協力しました。

資料を販売しています

●財団発行資料
「2013年度国際交流事業報告集 絵本作家ローレン・チャイルド自作を語る―あたしのなやみは無限大―/子ども向け絵本づくりワークショップ」 1000円
フォーラム報告集「子どもの文学と文化を問い続けて―児童文学者

中川正文の仕事を顧みる」 1400円
・「2012年度国際交流事業報告集 絵本作家デイヴィッド・ウィーズナーの世界 絵は物語る/子ども向け絵本づくりワークショップ」 1000円
・「2011年度国際交流事業報告集 オーストラリアの絵本の魅力 ショーン・タン自作を語る/子ども向け絵本づくりワークショップ」 1000円
・「2010年度国際交流事業報告集 アジアの絵本シンポジウム 絵本は国境を越える―中国語圏の絵本の現在―」 500円
・「国際児童文学館紀要」1号〜26号 1000円〜1900円
・「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」27号 1400円
・「台湾の絵本」論文集・シンポジウム報告書 1900円
・世界の絵本の現在・報告集「タイの絵本」 1900円
・「インドの絵本」論文集 1400円
・「中国の絵本」論文集 1900円
など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。(価格は税別)

資料のご寄贈をありがとうございます

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。
(ご寄贈いただいた方々のお名前

は別紙をご覧ください)

図書	3,503冊
雑誌	3,692冊
その他資料	871点
計	8,066点

寄付金募集のお願い!

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。ご協力をお願いします。

◆ゆうちょ銀行振替口座に払い込みください。
口座番号
00910・8・282098
加入者名
一般財団法人大阪国際児童文学振興財団
※他の金融機関からの振込の場合
店名:〇丸九店 支店:〇キョウキュウ
店/店番:〇99/預金種目:
当座/口座番号:〇2882098

◆平成25年度は、140件
3,453,255円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。ご寄付いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください

編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート第4号」をお届けいたします。当レポートでは、平成25年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さまのサポート・ご協力に深く感謝いたします。引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。